

(別紙様式1)

平成26年度「岐阜県ふるさと教育週間」実施報告書

学 校 名	飛騨市立古川中学校		
実 施 期 間	平成26年9月25日(木)～11月17日(月)		
実 施 概 要	①町内オリエンテーリングのガイダンス(研修意義を考える) ②訪問場所、質問内容の決定(職業、地元への思いを探るための質問を考える) ③研修の計画(グループごとの行程表作成) ④町内オリエンテーリング(研修先を訪問する) 古川町内のオリエンテーリングを行う中で、選んだ職場において、その職場の方から職業や地元に対する思いを聞き出す。 ⑤ 研修の振り返り(職業、地元へも思いをまとめる)		
実 施 内 容	学習・取組の分野 ■自然      ■歴史      ■文化      ■産業      □その他		
	公開の方 □授業公開   □成果発表   ■交流活動   □講演会等  □地域行事等参加   ■その他		
来 校 者 数	保 護 者	184 人	計 220 人
	地域関係者	36 人	
実 施 状 況	目的：自分たちのふるさと飛騨市を、自分たちの目で見て歩くことで、その有様を把握する。働く人のやりがいや苦勞、飛騨市に対する思いを知り、自分たちのふるさと観、職業観を培うきっかけとする。 詳細：総合的な学習の時間の中で、3年間のキャリア教育のベースとして位置付けた。 ・生徒のまとめからは、改めて古川町にある史跡、施設等を確認できたこと、それによって、自分たちの成長に応じて様々なサポートが準備されていることを知ることができたこと、さらに、そこで働く多くの人々のお蔭でそのサービスが受けられることなど、多くの事を学んだことが分かった。また、実際に地元で働いている方の、仕事に対する思い、誇り、飛騨市への思い入れがよく伝わった。 ・三者懇談において、保護者とともに振り返り、現在の進路希望を確認した。		
成果及び課題	訪問先の事業主からは、大いに意義があると評価いただいた。特に、 ・経営者から生の声が聴けた。 ・全くの他人から仕事の厳しさや生きがいなどを聴けた。 ・2年生の職場体験にしっかりつなげることができる。 ・仕事の大変さを学び、親への感謝の気持ちが芽生えるのではないか。 ・いろんな職場の話聞く機会が増えることで、将来の進路決定に役立つとともに、飛騨市で働くことを具体的に考えられたのではないか。 など、学校の意図をしっかりとくみ取って御指導いただいた。 課題は、取り組む姿勢に個人差がみられ、主体的に質問等できない生徒の指導である。コミュニケーション力不足の指摘もあった。		